学校番号	2002

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編　数学Ｂ　（数研出版）						
副教材等	新課程　３TRIAL 数学Ｂ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数学は公式を覚えるのでなく，本質を理解し考え方を学ぶことが大切です。
・授業では課題に対して自ら考える活動を中心に行います。そして様々な考え方に触れ，より良い解決の過程を深めましょう。
・問題集と問題集用のノートを用意し，たくさんの問題を解いてください。ただ答えを求めるだけでなく，途中式や考え方も丁寧に書きましょう。また答え合わせの際は，答えを確認するだけでなく，途中式や説明も含めて見直しをしてください。間違えた問題や理解不十分な問題は再度チャレンジし，何も見ずに自分の力だけで解けるようになるまで何度も繰り返し学習してください。
・家庭学習としての課題は定期的に課すので，日頃から毎授業後に復習として取り組みましょう。提出物は担当の先生の指示に従って必ず提出しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力を身に付けている。 ・確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。 ・日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　数列	第１節 等差数列と等比数列 １　数列と一般項 ２　等差数列 ３　等差数列の和 ４　等比数列 ５　等比数列の和	a:初項と公差・公比を文字で表して，条件から数列の一般項を決定できる。等差数列・等比数列の和の公式を適切に利用して，数列の和が求められる。 b:数の並び方からその規則性を推定して，数列の一般項を考察できる。等差数列・等比数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 c:等差中項・等比中項の性質に興味をもち，問題解決に取り組もうとする。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 パフォーマンス課題 提出ノート	観察 提出ノート
		第２節 いろいろな数列 ６　和の記号 Σ ７　階差数列 ８　いろいろな数列の和	a:階差数列を利用して，もとの数列の一般項が求められる。和の求め方の工夫をして，数列の和が求められる。 b:数列の和を記号Σで表して，和の計算を簡単に行うことができる。群数列を理解し，ある特定の群に属する数の和が求められる。 c:f(k＋1)－f(k)を用いる和の求め方に興味をもち，具体的な問題に活用しようとする。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 パフォーマンス課題 提出ノート	観察 提出ノート
		第３節 漸化式と数学的帰納法 ９　漸化式 10　数学的帰納法	a:初項と漸化式から数列の一般項が求められる。数学的帰納法を用いて等式，不等式，自然数に関する命題を証明できる。 b:複雑な漸化式を，おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 c:an＋1＝pan＋qを満たす数列の階差数列について，具体的に考察しようとする。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 パフォーマンス課題 提出ノート	観察 提出ノート
2学期	第2章　統計的な推測	第１節 確率分布 １　確率変数と確率分布 ２　確率変数と期待値と分散 ３　確率変数の和と積 ４　二項分布 ５　正規分布	a:確率変数の確率分布，期待値，分散，標準偏差を求めることができる。確率変数の和の期待値，独立な確率変数の和の分散を，公式を利用して求めることができる。 b:確率変数の期待値，分散，標準偏差などを用いて確率分布の特徴を考察することができる。具体的な事象を二項分布として捉え，考察することができる。 c:確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき，確率分布について積極的に考察しようとする。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 パフォーマンス課題 提出ノート	観察 提出ノート

		第２節 統計的な推測 ６　母集団と標本 ７　標本平均の分布 ８　推定 ９　仮説検定	a:母集団分布と大きさ 1 の無作為標本の確率分布が一致することを理解し，母平均，母標準偏差を求めることができる。推定・仮説検定に関わる用語・記号を適切に活用することができる。 b:母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方がわかる。 c:推定や信頼区間・仮説検定の考え方がわかる。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 パフォーマンス課題 提出ノート	観察 提出ノート
３学期	第３章　数学と社会生活	１　数学を活用した問題解決 ２　社会の中にある数学 ３　変化をとらえる ～移動平均～ ４　変化をとらえる ～回帰分析～	a:日常生活における問題や社会問題を数学的に考察するときの手順を理解している。定義から偏差値を求めることができる。また，偏差値を用いて値の比較ができる。 b: 問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察し，別の仮定を立てて考察することができる。 c: 社会生活における問題について，学んだ方法を積極的に活用し，主体的かつ対話的に問題を解決しようとする。	定期考査 確認テスト 提出ノート	定期考査 パフォーマンス課題 提出ノート	観察 提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度